

Digital Citizenship 通信 【第1号】

【傷つくようなメッセージが友達から来たら】

SNS やメールで友だちとメッセージのやりとりをしている人も多いですね。仲良しだからいつでも連絡ができて楽しい！でも、顔が見えない文字数の限られたコミュニケーションでは不安なことも起こります。今回の動画は、そんな一場面を紹介しました。

【Q1：ショックを受けたチヒロさんに、これからのアドバイスを書いてください。】へは、次のような回答がありました。多くの意見をまとめると、以下に集約されました。

- ・返信を見て焦らずに、冷静になって直接友達に聞いてみたらいいよ。
- ・信頼のできる大人（親、先生）に相談しよう。
- ・「いいよ」という言葉にはいくつかの見方があるけど、仲のいい友達なら信じよう。
- ・文字だけの情報だと誤解もあるよ！（だから気にしない）。
- ・勘違いされない文を考えてから送ったら良かったね。
- ・家の予定を確認して、予定がありそうなときは約束しないようにしたら良かったね。
- ・誤解を生まないためにメッセージに関係するスタンプを付けたら伝わりやすいかも。
- ・「お土産いらない？笑笑」みたいな軽い感じで聞いてみたら？
- ・そうは思っても、一応おみやげを買っておこう。
- ・SNS のやり取りを辞めたらいいと思う。
- ・その子とは少し距離をとって置いたらいいと思うよ。

【Q2：今回のようなトラブルにならないために、気をつけることを書いてください。】へも、たくさんの回答がありました。まとめると、以下のような内容になります。

- ・誤解が生じないような、誰が見ても同じ解釈ができるよう言葉を使い、詳しく書く。
- ・「？」、「！」、絵文字、スタンプ等を使うことでニュアンスが伝わるように書く。
- ・メッセージに主語を入れたり、自分の気持ちを丁寧に、理由を書いたりする。
- ・相手にどんな印象を与える文になっているか、傷ける言葉を使っていないか確認する。
- ・大切なことは、直接話す。
- ・そもそもお土産の話をしなない。
- ・文字だけでは伝わらない部分もあるので、メッセージを悲観的に受け取らない。
- ・一人で考え込まないで、誰かに相談する。
- ・メッセージのやりとりだけで予定を決めず、家の予定をしっかりと確認する。
- ・SNS を利用しない。
- ・慣れない頃は、不安になりやすいということを分かった上で使い始める。

メッセージ文の「書き方」に注意するという意見の他に、メールや SNS は伝わりにくい特徴があるので気にしないという「心構え」に関する意見もありました。また、家の予定をしっかりと確認することや、メッセージアプリを使わないという「態度」に関する意見もありました。どれも大切な考え方だなと思います。多くの意見を参考に、よりよく活用していきましょう。

参考サイト：[ネット社会の歩き方](#)

（動画教材No.57 を活用しました。）

サイト QR コード→

